

令和5年2月市議会 環境経済委員会資料

第16号議案 令和5年度長崎市中央卸売市場事業特別会計予算

【目次】	【予算説明書ページ】	【ページ】
【単独】中央卸売市場施設整備事業費	…………… 20～21	…………… 3～4
【参考資料】		
中央卸売市場事業特別会計当初予算比較表(歳入・歳出)	……………	6～7
中央卸売市場の概要	……………	8～9
中央卸売市場事業経営戦略(概要)	……………	10～12
中央卸売市場施設概要	……………	13

商 工 部

令和5年2月

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
20~ 21	1 中央卸売 市場費	1 中央卸売 市場費	1 中央卸売 市場管理費	5-1	【単独】中央卸売市場 施設整備事業費 中央卸売市場設備改修	千円 13,500

1 概要

中央卸売市場は、長崎市公共施設保全計画に基づき令和22年までの65年間施設を使用することを目標にしており、さらに、令和3年3月に策定した中央卸売市場事業経営戦略に基づき、効率的な経営と施設の維持管理に取り組むこととしている。

市場内に設置された自動火災報知設備については、定期的に法定点検を行っているが、平成8年度に改修を行って以来、26年間更新をしておらず、機器の機能と性能の信頼性を維持するためには限界がある。

そのため、市場内で就労している多数の人命の安全確保を図り、自動火災報知設備の機能等を維持するため、火災受信機や警報ベル等の取替えを行うもの。

2 事業内容

【工事名】自動火災報知設備更新工事（予算額13,500千円）

管理棟、卸売棟、冷蔵庫棟、関連事業者棟、守衛棟における火災受信機・副受信機・発信機・表示灯・警報ベルの取替え



(火災受信機)



(総合盤)



(副受信機)



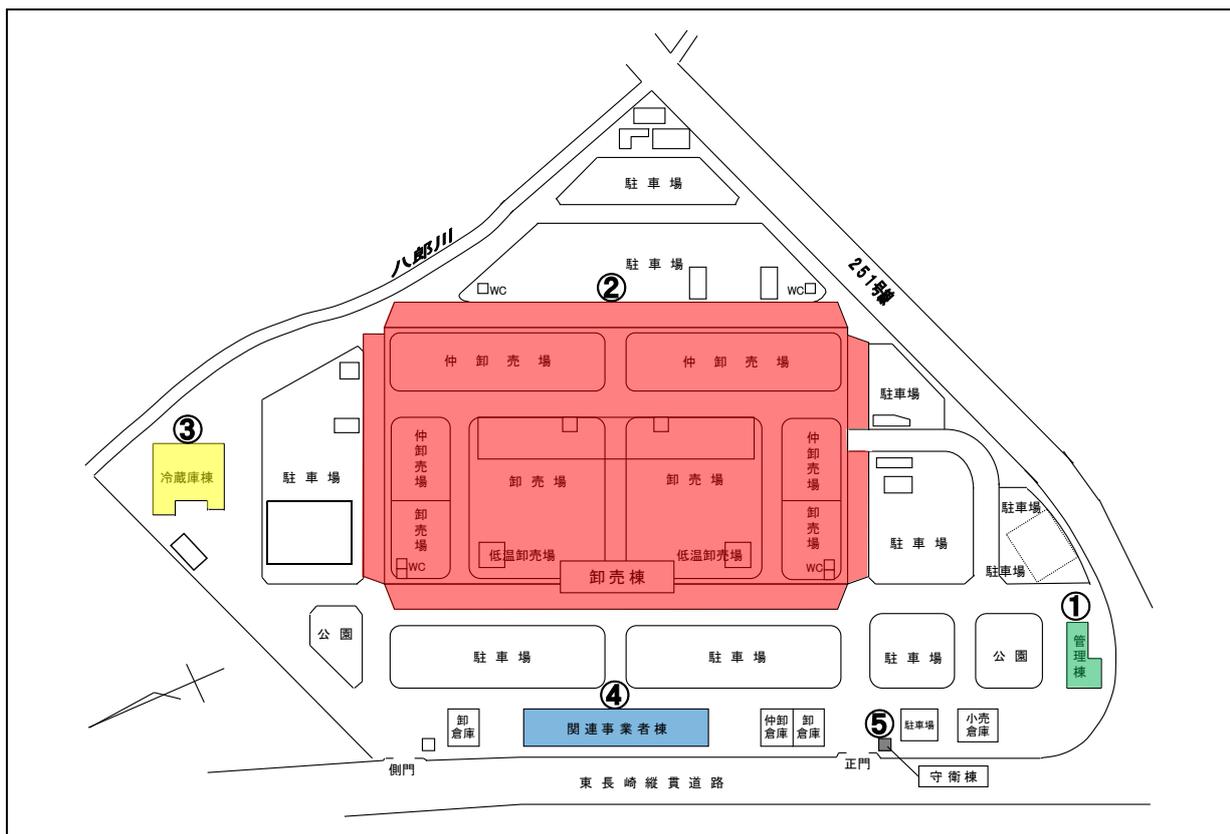
(警報ベル)

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債 ※	その他	一般財源
千円 13,500	千円 —	千円 —	千円 13,500	千円 —	千円 —

※ 公営企業債 充当率 100% (交付税措置率 —%)

4 施工箇所及び機器数



施工箇所	火災受信機	副受信機	総合盤	発信機	表示灯	警報ベル
① 管理棟	1	1	3			
② 卸売棟	1	1	6	15	15	28
③ 冷蔵庫棟	1		2	1	1	8
④ 関連事業者棟	1		4			
⑤ 守衛棟		1				
計	4	3	15	16	16	36

※ 総合盤は、発信機・表示灯・警報ベルが1セットになったもの。

5 その他

熱・煙感知器については、設置合計が892個あり、年2回実施の法定点検により判明した不良分について随時の取替えを行っているほか、年次計画的に取替えを行うこととしているため、本件更新工事の取替機器には含んでいない。

【参考資料】

中央卸売市場事業特別会計当初予算比較表(歳入)

(単位：千円)

	事 項 名 等	令和5年度 (構成比)	令和4年度 (構成比)	比較	
歳	使 用 料	143,479 (54.8%)	145,492 (58.5%)	△ 2,013	
		卸売業者市場使用料	49,345	49,939	△ 594
		卸売業者売場使用料	12,323	12,323	0
		低温売場施設使用料	2,294	2,294	0
		仲卸業者市場使用料	325	357	△ 32
		仲卸業者売場使用料	16,536	17,107	△ 571
		買荷保管積込所使用料	12,797	13,178	△ 381
		倉 庫 使 用 料	7,262	7,262	0
		冷 蔵 庫 使 用 料	5,312	5,312	0
		関連事業者市場使用料	8,445	9,007	△ 562
		関係業者事務所使用料	13,799	13,686	113
		仮 眠 所 使 用 料	297	297	0
		会 議 室 使 用 料	5	6	△ 1
		屋上駐車場使用料	52	52	0
		空 地 使 用 料	14,446	14,038	408
		土 地 使 用 料	241	634	△ 393
入	手 数 料	市場使用料督促手数料	1 (0.0%)	1 (0.0%)	0
	財 産 運 用 入 収	利 子 及 び 配 当 金	1 (0.0%)	1 (0.0%)	0
	一 般 会 計 繰 入 金		46,922 (17.9%)	44,330 (17.8%)	2,592
雑	入		57,774 (22.1%)	51,612 (20.7%)	6,162
		電 気 使 用 料	57,740	51,583	6,157
		業 者 章 売 払 代 金	33	28	5
		複 写 手 数 料	1	1	0
市	債		13,500 (5.2%)	7,400 (3.0%)	6,100
合	計		261,677 (100.0%)	248,836 (100.0%)	12,841

中央卸売市場事業特別会計当初予算比較表(歳出)

(単位：千円)

	事 項 名 等	令和5年度 (構成比)	令和4年度 (構成比)	比 較
歳	中央卸売市場費	237,210 (90.6%)	224,441 (90.2%)	12,769
	職 員 給 与 費	65,641	69,714	△ 4,073
	交 際 費	120	120	0
	取 引 運 営 委 員 会 費	359	356	3
	施 設 維 持 管 理 費	138,162	129,908	8,254
	中央卸売市場オープン化 推 進 事 業 費	1,000	1,000	0
	事 務 費	18,428	15,943	2,485
	【単独】中央卸売市場 施 設 整 備 事 業 費	13,500	7,400	6,100
出	公 債 費	23,967 (9.2%)	23,895 (9.6%)	72
	元 金	23,434	23,393	41
	利 子	533	502	31
	予 備 費	500 (0.2%)	500 (0.2%)	0
	合 計	261,677 (100.0%)	248,836 (100.0%)	12,841

中央卸売市場の概要

1 目的及び役割

中央卸売市場とは、私達の毎日の食生活に欠かせない生鮮食料品などを全国各地から多種多量に集め、せり等の取引により適正な価格をつけて、安定的に消費者に供給する流通拠点である。

- ・ 全国中央卸売市場数 (R4. 6. 1 現在)
→ 65 (40 都市) うち青果 50 (38 都市)
- ・ 全国市場経由率 (R1 年度) → 53.6%
- ・ 国産青果物の市場経由率 (R1 年度) → 76.9%

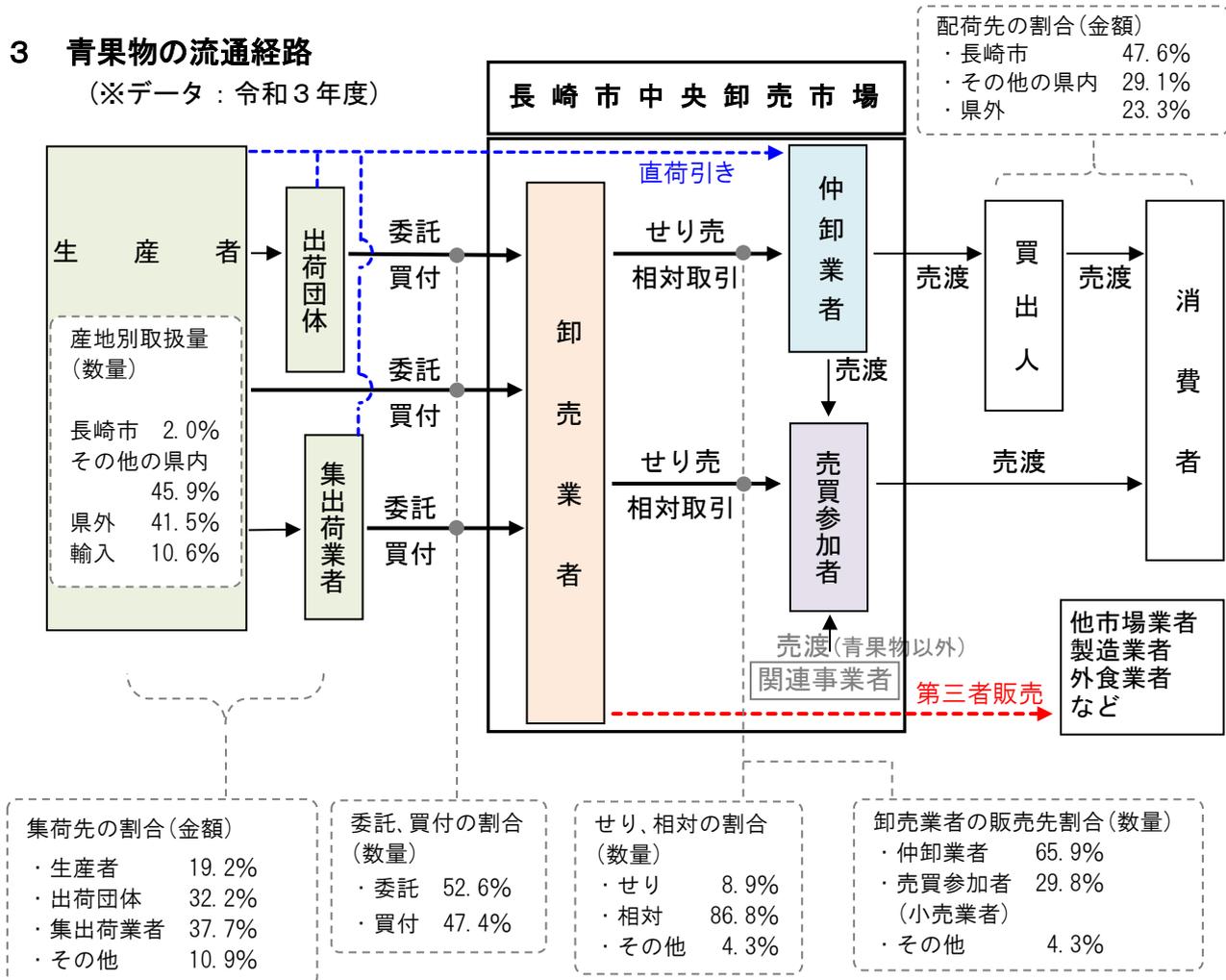
2 市場関係者

(令和5年1月5日現在)

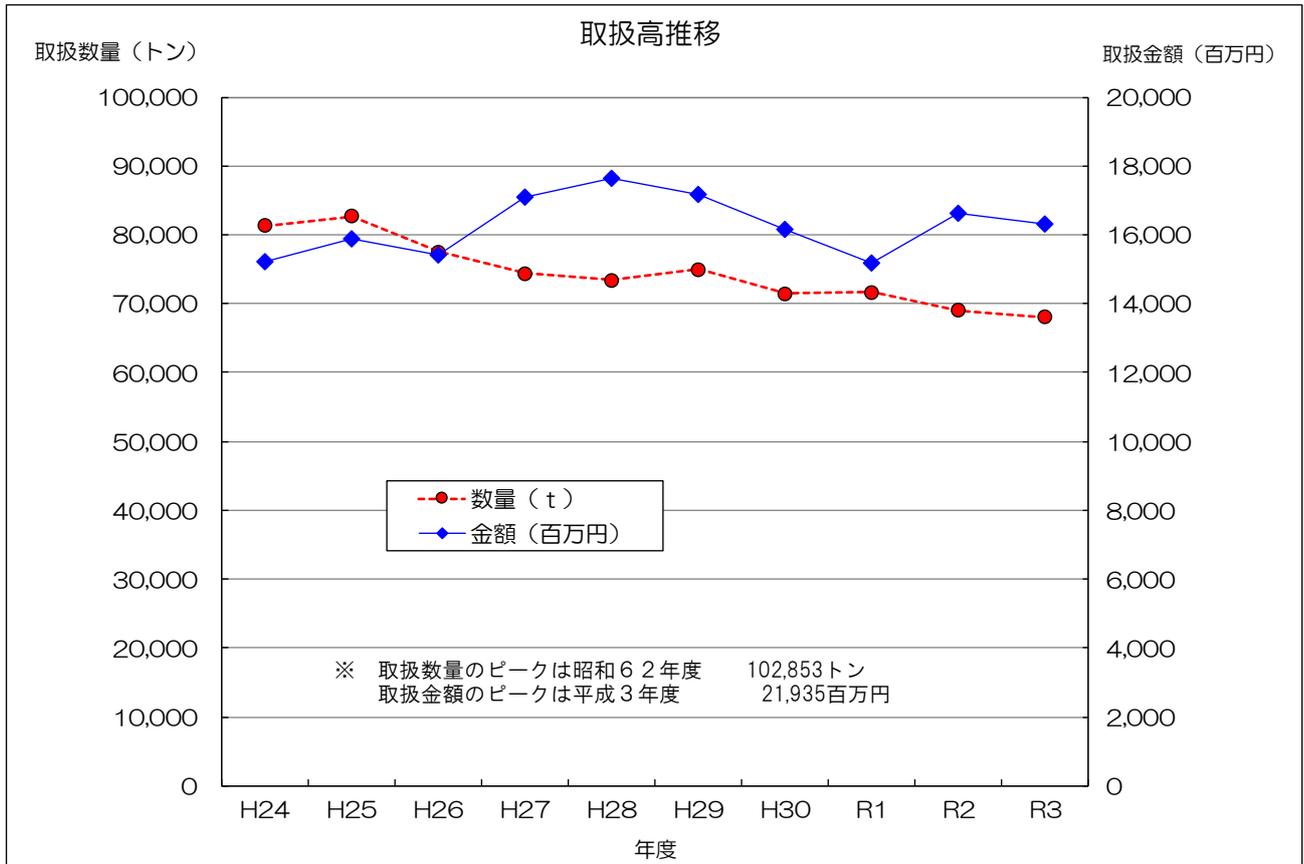
・ 卸売業者	2社	・ 長崎大同青果株式会社 ・ 株式会社 長 果
・ 仲卸業者	16社	・ 長崎市青果卸業協同組合 ・ 大長崎青果組合
・ 売買参加者	131業者	・ 長崎市青果物商業協同組合 (88 業者) ・ 長崎市浦上青果食品小売商組合 (16 業者) ・ 長崎青果丸和組合 (9 業者) ・ 大長崎青果組合 (9 業者) ・ 長崎協和青果組合 (6 業者) ・ 長崎新青果組合 (3 業者)
・ 関連事業者	11業者	・ 関連商品売場ほか

3 青果物の流通経路

(※データ：令和3年度)



4 年度別取扱高



	野 菜		果 実		総取扱高		前年度比(%) (総取扱高)	
	数量(トン)	金額(千円)	数量(トン)	金額(千円)	数量(トン)	金額(千円)	数量	金額
平成24年度	59,898	9,766,108	21,463	5,463,571	81,361	15,229,679	101.5	93.4
平成25年度	61,394	10,376,368	21,297	5,522,665	82,691	15,899,033	101.6	104.4
平成26年度	57,211	9,915,796	20,316	5,512,431	77,527	15,428,227	93.8	97.0
平成27年度	56,061	11,303,726	18,336	5,792,628	74,397	17,096,354	96.0	110.8
平成28年度	55,427	11,857,490	17,958	5,764,608	73,385	17,622,098	98.6	103.1
平成29年度	56,133	11,436,868	18,809	5,744,431	74,942	17,181,299	102.1	97.5
平成30年度	53,308	10,406,766	18,126	5,760,246	71,434	16,167,012	95.3	94.1
令和元年度	53,768	9,564,985	17,883	5,605,693	71,651	15,170,678	100.3	93.8
令和2年度	51,333	10,490,522	17,679	6,153,501	69,012	16,644,023	96.3	109.7
令和3年度	49,726	9,961,772	18,356	6,367,479	68,082	16,329,251	98.7	98.1

※改正卸売市場法施行（R2.6.21）による新たな集計方法により取扱高を記載。

※取扱高減少の要因

- ・人口減少による需要減
- ・高齢者施設や単身世帯、共働き世帯の増加による家庭需要の減（業務用需要の増）など

中央卸売市場事業経営戦略（概要） 令和3年3月策定

1 策定の目的

長崎市中央卸売市場においては、施設等の老朽化に伴う更新投資の増大、人口減少による取扱高の減少に伴う料金収入の減少等により、経営環境は厳しさを増しつつあることから、経営等についての確な現状把握を行った上で、中長期的な視野に基づく計画的な経営に取り組み、徹底した効率化、経営の健全化を図るため、令和3年3月に経営戦略を策定した。

「経営戦略」とは、公営企業の経営にあたり、総務省が示したひな形や記載例に基づき作成したもので、一般的にいう戦略に盛り込むべき、経営の健全化に向けた方策や将来市場のビジョンなどの記載項目は設けていない。

2 計画期間 令和3年度から令和12年度までの10年間

3 経営戦略の内容（全10ページの抜粋）

（1）将来の事業環境

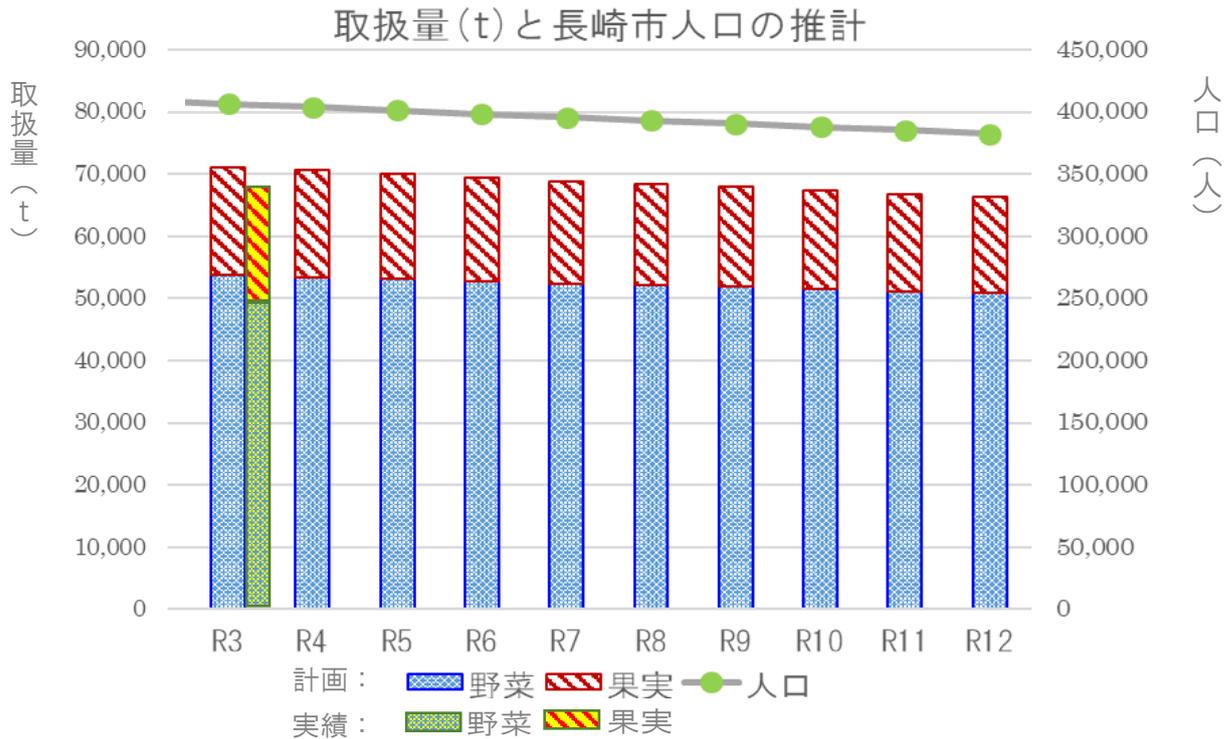
ア 取扱高の見通し

卸売業者及び仲卸業者の計画（目標）、過去の実績及び人口減少率等により推計。

◎人口減少の影響が大きく、10年間で約7%減少（見込み）

- ・減の要因：人口減少、流通多様化及び中食※利用など
- ・増の要因：卸売市場法の改正による取引の自由化

※中食とは、市販の弁当や惣菜、調理品を食べる食行動をいい、主に市場外流通の青果物を使用。



(単位：t、人)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
野菜	53,704	53,448	53,094	52,753	52,442	52,145	51,878	51,512	51,173	50,912
果実	17,339	17,098	16,865	16,641	16,425	16,218	16,017	15,822	15,634	15,453
計	71,043	70,546	69,959	69,394	68,868	68,363	67,896	67,334	66,807	66,365
人口	406,675	403,903	401,131	398,359	395,586	392,970	390,371	387,789	385,224	382,504

実績		R3	実績-見込	実績/見込
	野菜	49,726	-3,978	92.6%
	果実	18,356	1,017	105.9%
	計	68,082	-2,961	95.8%

※人口は、経営戦略策定時の長崎市人口ビジョン（令和2年3月策定）による

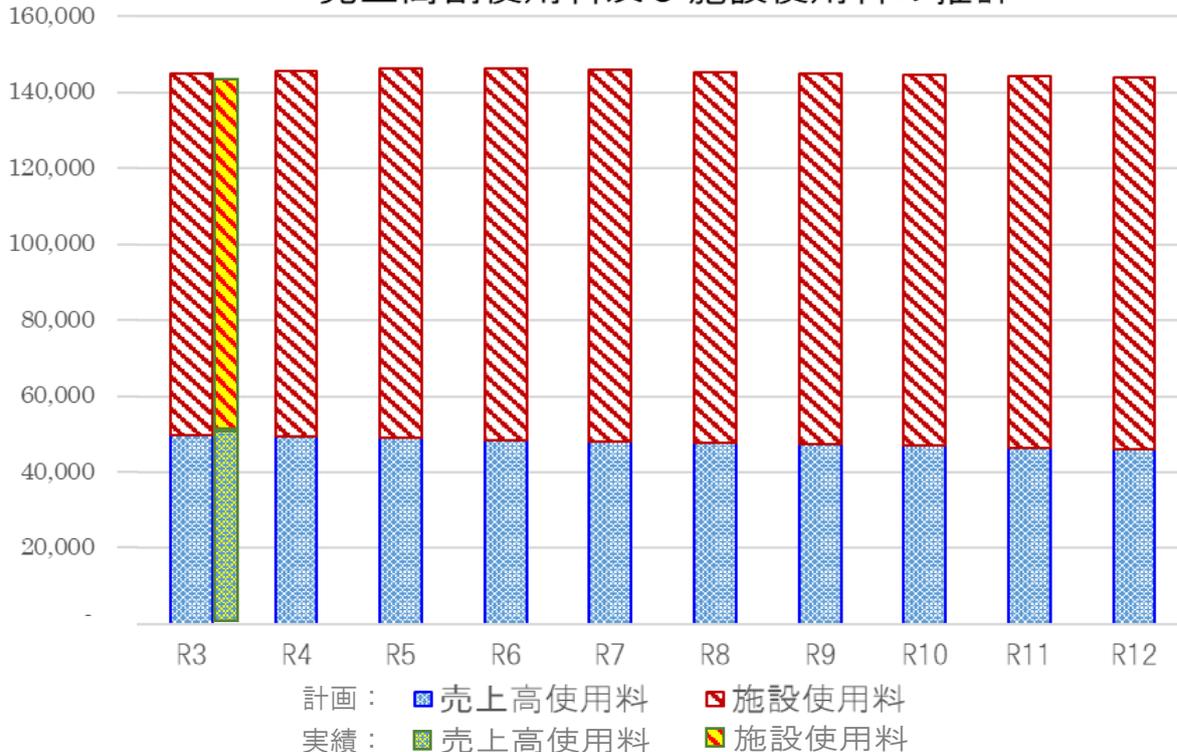
イ 使用料収入の見通し

◎10年間で約1%減（見込み）

- ・売上高割使用料：約7%減
- ・施設使用料：約3%増

（単位：千円）
160,000

売上高割使用料及び施設使用料の推計



(単位:千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
売上高割使用料	49,763	49,452	48,990	48,549	48,130	47,735	47,358	46,939	46,537	46,183
施設使用料	95,199	96,230	97,353	97,634	97,634	97,634	97,634	97,634	97,634	97,634
計	144,962	145,682	146,343	146,183	145,764	145,369	144,992	144,573	144,171	143,817

実績	R3		実績-見込	実績/見込
	売上高割使用料	49,896	133	100.3%
	施設使用料	92,555	-2,644	97.2%
	計	142,451	-2,511	98.3%

ウ 施設の見通し

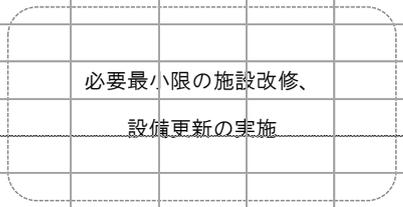
本市公共施設マネジメント計画や公共施設保全計画に基づき、令和22(2040)年度までの使用を目標に計画的な維持補修を行い、市場機能を維持する。

(2) 投資・財政計画（収支計画）

ア 投資

(単位:千円)

		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
卸売棟	鉄骨(柱・梁)塗装改修工事				42,100	50,600					
関連事業者棟	空調設備工事					13,700					
冷蔵庫棟	高圧受変電設備更新工事	39,100									
管理棟	外壁改修工事			20,900							
	空調設備更新工事				11,900						
その他	自動火災報知設備更新工事					5,800					
事業費		39,100	0	20,900	54,000	70,100	23,000	43,400	88,300	44,600	30,000
財源(公営企業債)		39,100	0	20,900	54,000	70,100	23,000	43,400	88,300	44,600	30,000



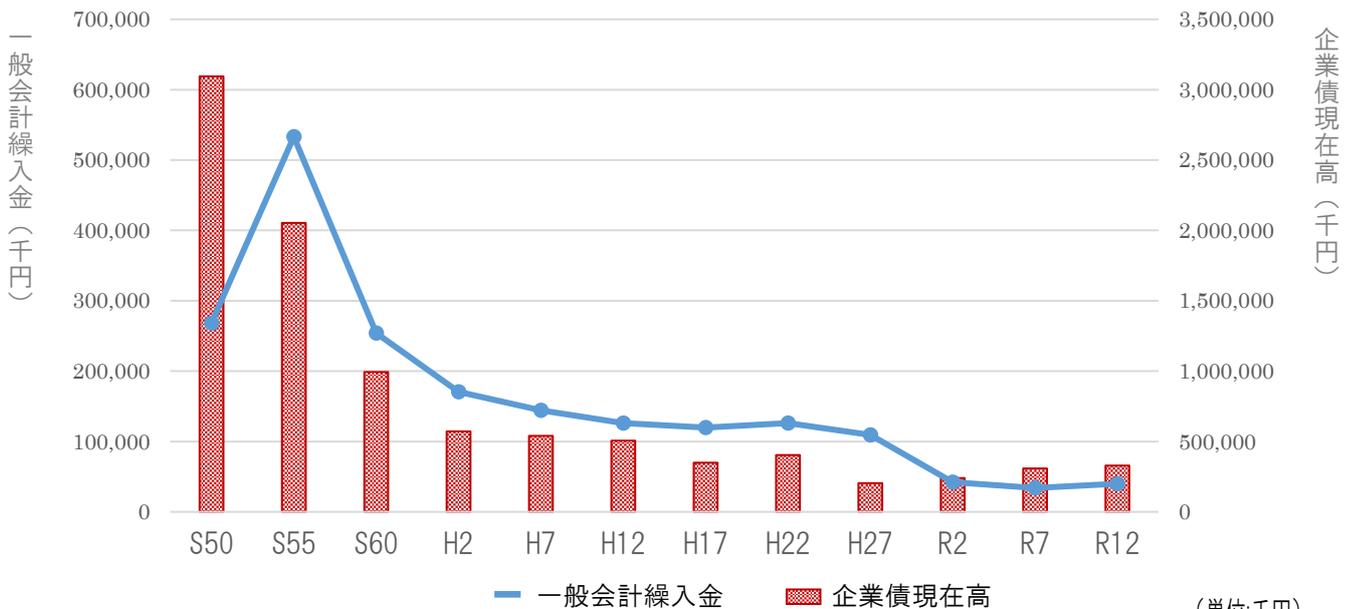
実績			R3	R4	R5
	冷蔵庫棟	高圧受変電設備更新工事	33,279		
卸売棟	非常用直流電源装置部品更新工事		7,400		
その他	自動火災報知設備更新工事			13,500	

※ R4,5の工事は、人命に係わる設備の更新工事であり安全確保のため前倒しで実施。

※R4,5は予算額

イ 財源

一般会計繰入金と企業債現在高



	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R7	R12
一般会計繰入金	268,365	533,050	253,988	170,771	144,064	126,131	119,881	126,058	109,523	42,023	33,965	39,588
企業債現在高	3,094,000	2,052,289	993,158	570,692	538,814	504,804	349,034	404,401	203,525	240,560	308,946	410,092

4 進捗管理等

(1) 施設管理

維持管理コストの抑制を図るため、計画的な維持補修を行う。

(2) 事後検証、改定等

卸売市場を取り巻く環境の変化に対応するため、毎年度、進捗管理を行うとともに、見直しが必要と判断した場合は更新する。(PDCA)

(3) 改定が生じた場合は、直近の議会への説明を行い、ホームページを更新する。

中央卸売市場施設概要

施設の種類		規模 (m ²)	適 要 (構造等)
敷地面積		73,417m ²	
建物延面積		36,251m ²	
卸売棟		31,026m ²	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造2階建
内訳	卸売場	14,145m ²	低温卸売施設100m ² ×2基
	仲卸売場	7,863m ²	
	買荷保管積込所	5,165m ²	
	関係業者事務所	2,118m ²	
	その他	1,735m ²	庇・便所・階段・塔屋・プロパン庫等
冷蔵庫棟		1,412m ²	鉄筋コンクリート造2階建
管理棟		855m ²	鉄筋コンクリート造3階建
関連事業者棟		1,640m ²	鉄筋コンクリート造2階建
倉庫棟		1,045m ²	鉄骨造平屋建
その他		273m ²	守衛棟・屋外便所等
駐車場	屋上	3,714m ²	122台
	平面	18,298m ²	670台(アスファルト舗装)
緑地		2,346m ²	
公園		1,617m ²	2ヶ所

